

碩心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
神奈川 碩心 会 発行

10年12月現在 逗葉大(合)	12月 子山地 地区計	現在 地区計	会員数 132名 197名 33名 362名	10年12月 (317号)	発行者 千 葉 岳 関 編集者 白 井 岳 麗
--------------------	-------------------	-----------	------------------------------------	---------------	----------------------------

行事予定

○県本部初理事會、初吟会

日時・1月31日(日)
場所・平塚農業会館

○高段者審査会

(皆伝、九段、十段、正師範)
日時・2月14日(日) 9時受付
2月28日(日)

(2月21日が変更になりました)
場所・平塚農業会館

○11年度 碩心会初吟会

日時・1月10日(日) 10時～16時
場所・逗子会館

〃初吟会当日について、企画部よりお願い
平成11年初吟会(1月10日)につきまし
ては、会員の皆様より多数ご出席のご返事
をいただき、ありがとうございます。
つきましては次の二点に、ご協力をお願
いいたします。

記

- 一、会場の逗子会館の駐車場はあまりスペースがありませんので、担当支部の役員以外のの方は、車でのご来場をご遠慮下さい。
 - 二、当日は10時に式典を開始いたしますので時間に遅れないと共に、開始時間ぎりぎりですと受付が混雑しますので、余裕をもつてご来場の上、受付を済ませて下さい。
- 企画部より

第4回

神奈川県本部年齢別吟詠大会

実施要領

日時・11年5月4日(休) 9時～17時
会場・栄区民文化センター(リリース)

JR根岸線、本郷台下車 (徒歩3分)
軸 欄・神奈川県本部登録会員で65才以上

但し前回迄に表彰を受けられた方
並びに総伝者は除く。

軸 廻・碩心会は2月15日迄に、総務部長
松井正岳まで出吟料に二千円を添
えてお申し込みください。

尚プログラム編成後の取り消しは
返金いたしません。

課題吟

和歌の部 (朗詠集)

1 唐土にて月を見て詠みける

阿部仲麿呂 P-22

2 なでしこ

西行法師 P-38

3 春の山

藤原良経 P-42

4 山ざくら

本居宣長 P-50

5 中国を巡りて

若山牧水 P-80

漢詩の部 (第三巻)

1 半夜

良寛 P-9

2 出郷作

佐野竹之助 P-14

3 河内路上

菊地溪琴 P-20

4 廬山の瀑布を望む

李白 P-55

5 胡隱君を尋ぬ

高啓 P-71

3月21日(出) 九段会館に於て行われる全国優秀吟者吟道大会は、まだ入場券があります。御入用の方は、総務部 松井正岳までお申し込み下さい。



碩心会逗子地区温習会を終えて

真澄支部 西川 幸岳

昨日までの悪天候もどこへやら、初冬にしては穏やかな好天に恵まれ、12月6日碩心会逗子地区温習会が図書館ホールで開催されました。私は今年逗子地区副地区長の役をお引き受けして、初めての温習会のため朝から緊張しておりました。

今回も皆様方それぞれに熱吟を披露して頂きましたが、とりわけ第一部最初の方の熱吟に誘導されたかの如く、一部の盛り上がりが目立った様に思いました。

役員吟詠も又素晴らしく、ご高齢にもめげず立派に吟じられたお姿に私どもも何かを教えられる思いでございます。季節柄、体調を崩されている方も多く、ご欠席の先生がいられて淋しさの加わったことも否めません。

この一日が穏やかな好天に恵まれたことも大変印象の深い、本年最後の発表会となりました。

本年は又来春へと続き、初吟会に向けて、それぞれ練習を始めている方もあると思えます。目まぐるしい出来事の多かった一年でし

たが、体に留意して、碩心会が実り多い年になりますよう、お互いに頑張つて参りたいと思えます。

この一年いろいろと有難うございました。

第13回鎌倉市詩吟舞舞連盟大会開かる

岩崎 岳 恵

菊薫る11月7日、鎌倉芸術館小ホールに於て鎌倉市詩吟舞舞連盟の大会が開催されました。

定刻通り開会となり、富士山の大会吟の後理事長よりチエコ友好公演並びに皆様からのチャリティー基金のお礼と報告があり、間もなく会員吟詠となりました。

どの吟も日頃の研鑽の成果が伺える熱吟続きで、午前の部を終了。

昼食の後プログラムは詩舞に移り、音響の良い広い舞台で吟と舞の呼吸もピッタリ合った品の良い舞姿にうっとり、刻の過ぎるのも忘れしました。会も終わりに近づき役員、各会長吟詠となり、碩心会から千葉岳関会長も出吟なされ味のある吟声を聞かせて戴き、会も盛り上がり倅な気持ちで無事終了する事が出来ました。皆様御協力有難うございました。

神奈川県 南方諸地域戦没者

慰霊祭に参加して

中村 岳 愛

平成10年11月25日から29日にかけて、神奈川県遺族会による右慰霊祭に、私も遺族の一員として沖繩を訪ねました。

(第一日)

ふりかえれば終戦からもう53年の歳月が過ぎました。沖繩ではさきの大戦で、国内唯一の地上戦が繰り広げられ、一般県民をも巻き込み、20万人を超える尊い命が失なわれたのでした。

第一日の25日は羽田空港より那覇空港着、「護国神社」へ参拝しました。神社は昭和20年4月の米軍上陸作戦で戦災を蒙り、本殿、拝殿を焼失したが、昭和40年に再建竣工、郷土出身の英霊、又戦争の犠牲となった一般住民、遭難学童等17余万柱が祀られています。

(第二日)

第二日26日は、白梅の塔、魂魄の塔、そして私達詩吟愛好者には忘れられぬ「ひめゆりの塔」を訪ねました。

時に健なる哉学園の乙女

口唇固く結んで殉国を誓う

報国の純情は凝って鉄の如く

花顔織肢防戦に当る

鮮血は花を染め弾片飛ぶ

友は斃れ肌は裂けて心魂尽きたり

相抱き相擁して涙漕々

遙かに東天を拝して全員玉碎す

(詩文の中より一部抜粋)

壕のトンネルをくぐると、もと戦場であった展示室には十七、八才位のひめゆり部隊二百余名の遺影があり、今生きていたらちようど私達位だろうと、感無量でした。

そのあと、黎明の塔、国立戦没者墓苑を経て「神奈川の塔」へ参拝。わが神奈川県では、終戦20周年に当る昭和40年11月26日に、沖繩をはじめ、南方諸地域で戦いにたおれた県出身者四万余名の方々を追悼すると共に、世界平和の実現を願って、糸満摩文仁の丘に「神奈川の塔」を建立し、以来毎年11月26日に、遺族や沖繩県の方々も参列のもと、戦没者の方々を偲び、平和への誓いを新たにすためこの塔において追悼式を行っています。今年も岡崎神奈川県知事が追悼式に参加されました。私達も霊前に花を捧げ心から冥福を祈

りました。そのあと玉泉洞を見学、二日目を終りました。

(第三日)

三日目の27日は海上慰霊祭を行なうため、泊港から船で座間味島に向いました。そして船上で慰霊祭を行ない、そのあと各人が花一轮を海上に捧げました。私は、フィリッピンのリンガエン湾で戦死した兄のことが無性に思い出され涙がとまりませんでした。海上に向つてしばし両手をあわせ亡き兄を偲び供養しました。そして島に上陸、山上の「平和の塔」に参拝、船で帰着しました。

(第四日)

28日は琉球村、万座毛、海洋博記念公園、琉球ガラス等見学、空と海の碧さを満喫。

(第五日)

最終日29日は守礼の門、そして琉球王朝の栄華を今に伝える首里城へ。そのあと太平洋戦争中最も激烈を極めた沖繩戦に於て、日本海軍沖繩方面根拠地隊司令部のあった「旧海軍司令部壕」へ。深い壕を掘りそして多数の将兵が壮烈な最期を遂げたところで胸がつまりました。多くの御霊安らかなることを祈り、今の平和の俸せを沁々感じる旅でした。

青葉の笛にまつわる伝記

秋元 岳 梁

福井県和泉村の観光協会会長中山正治氏の青葉の笛について書かれた文中に、次のようなのが有ったので、参考までに……

「青葉の笛」とは笛研究家の美濃晋平氏と田口敏長氏により調査が進み、鹿児島県国分市の台明寺の藪から切りだされた「青葉の笛竹」で作られた笛の一般名であり、其のルーツは平安初期にまで遡るとい云う。現在「青葉の笛」と称する笛は全国に八本程あり、源氏の悪源太義平ゆかりの福井県大野郡和泉村に残る笛は平安末期頃の作とする特徴がよく出ているとのことである。「青葉の笛」と云えば一の谷の合戦で熊谷直実に討たれた、平敦盛の笛が有名で、その敦盛の笛も、右のような次第で作られた名笛ではなからうか。

和泉村では平成三年「笛資料館」を建設して「青葉の笛」の由来を提示し、全国から集めた名笛と云われるものを展示している。

「青葉の笛」は教本にも取り上げられて愛吟したものの一つである。

悪源太義平ゆかりとは……

源氏の源義朝の長男で頼朝や義経の兄であるが、若き頃生れ故郷に程近い和泉村の村長の娘と恋仲になり、平治の乱で父義朝に従い参戦する折り、恋人みつの腹の子に、男子ならこの太刀を、女子ならこの笛を与えよと置いていき、京で敗死した。

その後みつは女子を出産したが、やがて厄となり義平の遺した「青葉の笛」を守り神として保存し、成長していく娘に笛を教えながら義平のことを語り伝えたとい云う。

和泉村の義平の子孫、朝日牧雄氏宅には「青葉の笛」が現存していると云う。その笛は古く、指孔五孔以下より折れて吹くことは出来ないが代々家宝として保管されてきたと云う。悲劇の勇将源義平への愛惜が郷土の娘みつとの愛の物語によって高められ、義平の山国に残る唯一のロマンスではなからうか。



退会

10 竹石岳泓（長柄） 234 秋山瑞風（逗子A）

住所変更

246 石井美風（長柄）

新住所 逗子市桜山六一三二六―14

サニークレスト逗子A西岡方

☎〇四六八一七三―九〇八八

編集後記

「年ゆくと満天の星またたける」 蓼 汀
獅子座流星群を見てから早くも一ヵ月。十二月を迎え、オリオン星座が美しい頃となりました。

傾心会の一年は1月から12月まで、数多くの吟道大会が開催されました。講習会も多岐に7月5日には、傾心会として始めての夏期吟道講習会が逗子図書館ホールに於て行なわれました。年の瀬を迎え、改めて月日の何と早足であることかと驚きます。

平成10年度は祖宗範木村岳風先生の生誕百年にも当たりました。吟道を学ぶ者に、また別の感懐が湧き上がるのではないのでしょうか。佳き新年をお迎え下さい。

広報部